

# TPA

Newsletter



Vol. 32 May 2007



会員の皆様におかれましては、平素よりTPA・JTECS事業に格別のご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。泰日経済技術振興協会(TPA)日本語ニュースレター“TPA Newsletter”5月号をお届けいたします。今後とも、変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。



## 最近の活動

### ◆ Thailand Quality Prize 2007 ◆



2007年3月6-9日、第24回TPA QC大会“Thailand Quality Prize 2007”を開催いたしました。

今年も、最終審査に勝ち残った18チームが自慢の成果を発表し、厳格なる審査の結果、各部門におけるダイヤモンド賞、金賞、銀賞の受賞チームが決まり、狩野博士より各賞が授与されました。

また、最終日の9日には、東京理科大学名誉教授 狩野紀昭博士による基調講演“Strategy in Kano's House for Business Development to International”を行いました。

大会には、4日間を通し、1000名以上の参加がありました。



狩野博士(左)



審査員ならびに来賓

### ◆ 日本人専門家による特別セミナー ◆

「The Attractive Quality Creation, The Competitive Strategy in Modernized Business」

2007年3月10-11日、東京理科大学名誉教授で、数々の品質管理に関する賞を受賞されている品質管理の権威 狩野紀昭博士をお招きし、「The Attractive Quality Creation, The Competitive Strategy in Modernized Business」セミナーを開催いたしました。魅力品質創造ならびに課題達成QCストーリーに焦点をあてた講義はとても分かり易かったと評判で、また、参加者も大変熱心な方々が多く、時間を超過するほど多くの質問が寄せられました。土日にも関わらず、セミナーには99名の方が参加されました。



スッチャリット専務理事

## ◆ Special Interview ◆



### 狩野紀昭博士(かのう のりあき)

東京理科大学名誉教授、工学博士(東京大学)、名誉博士(中原大学、台湾)、積水化学工業(株)監査役  
電気通信大学講師・助教授を経て東京理科大学教授。2006年3月に定年退職。

主要活動には、アジア・クオリティ・ネットワーク(ANQ)名誉会長、国際品質アカデミー(IAQ)副会長、(財)日本科学技術連盟理事、デミング賞委員会実施賞小委員会委員長、日科連品質管理シンポジウム組織委員、QCサークル本部幹事、アメリカ品質学会(ASQ)フェロー、(社)日本品質管理学会会長などがある。  
表彰:2004 Harrington/Ishikawa Medal(アジア太平洋品質機構)、2002 E. Jack Lancaster Medal受賞(アメリカ品質学会)、1997年デミング賞本賞受賞、The 1997 Deming Lecturer受賞(アメリカ統計学会)、日経品質管理文献賞受賞6回(1977-97)  
その他著作多数

この度はお忙しい中、第24回TPAQC大会“Thailand Quality Prize 2007”へお越しいただき誠にありがとうございます。では先ず、今回の特別セミナーの主題でもありますKano House導入のきっかけならびに背景と、日本の企業で展開した際の成果についてお聞かせ願えますでしょうか

Kano Houseとは、何も新しいことを主張しようとしたわけではなく、それまでもエレメントとしていろいろあったものをひとつの体系として定義したものです。

定義して説明用に作ったものですので、Kano Houseが実践されているかどうかとは、TQMを実践しているかいないかと同じ意味になります。Kano Houseの意義としては、3つのことが挙げられるのではないかと考えています。ひとつには、以前は教育水準であるとか政治の安定といった社会の問題とTQM推進との関わりを議論したりはしなかったものを論じたこと。2つ目に、作業員ではなく経営者のモチベーションについて論じたこと。3つ目はのりものについてですが、方針管理、日常管理、QCサークルなどを一括し、手法と考え方を対比した環境で、総合的に取り扱ったということ。これら3点については、Kano Houseが始めてであったと思います。

日本においてどのように実践されているかについては、TQMというものは、実践の中で発展した活動であるので、あまりフォーカスして説明するという形がありませんでした。また、その必要もなかったので、実践されていたかと言われると、必要性を感じていなかったといわざるを得ないです。

ではどのようにして作り上げてきたのかというと、AOTS(財団法人海外技術者研修協会)で海外からの研修生にどのようにTQMを説明するか、また、アメリカやタイなどの海外で、如何に理論的にTQMを説明するかといったところから始まりました。

そのように海外で説明をしてTQMを理解してもらったので、実践という意味では、海外の企業、例えばサイアムセメントグループなどがKano Houseを実践していると言えるでしょう。

長くタイでQCIについてご指導しておられますが、タイにおけるQCIについて、どのような感想・印象をお持ちでしょうか。また、タイの企業へのKano House導入の可能性は如何でしょうか。その際、改良すべき点はございますか

タイには、先端的な取り組みをして世界的な模範となるようなところと、まったく何もしていないところとの両極端な面があります。

サービス産業では、QCサークル活動を70年代からと世界でも最も早い時期からスタートしており、それなりに成果をあげてきていると思います。ただ、どちらかというと作業員サイドに期待がいており、ミドルやトップ側のサークルへの重要性の認識は、一部の会社を除きまだまだ弱いようです。

これからTQMを実践しようとする人々に、注意点や心がける点などがあればお願いいたします

やはり、経営者が自分の会社の問題・弱み強みを認識し、その中で、弱みを改善し強みを生かし、目標に向けての戦略として、TQMを取り入れることです。漠然とTQMを入れるのではなく、何のために取り入れるのかをはっきりすることが肝要だと思います。

本日はお忙しいところ誠にありがとうございました。今後とも、タイ国におけるTQM発展のためお力添えをお願いいたします



## ◆ 日本人専門家による特別セミナー「品質保全」 ◆

3月29-30日、TPMの推奨団体JIPMソリューションより炭谷幸二氏をお招きし、TPM8本柱のひとつである「品質保全」セミナーを開催しました。セミナーには121名の参加があり、不良ゼロ・品質保全実現に向け、ポイント・進め方を学びました。



炭谷氏



## ◇ Welcome ! 最近の 主なご来訪者 ◇

### ◆ 国際交流基金 吉川 東南アジア総局長 ◆



4月26日、吉川竹二 国際交流基金 東南アジア総局長、バンコク日本文化センター新所長がTPAを訪問されました。今後の協力関係について話しあい

### ◆ 日本プラントメンテナンス協会 村瀬顧問 ◆

4月2日、日本プラントメンテナンス協会より村瀬顧問ならびに内山PM賞・資格認定部長がTPIを訪問し、PM賞審査機関認定証が授与されました。



## ★ お知らせ

### ◆ TPA 総会 ◆

5月26日(土)、パタナカーン新館において、2007年定時総会を開催いたします。今年、理事の任期満了に伴い、理事の改選を実施します。また、総会に先立ち、泰日工業大学ソフトオープン式典ならびに特別セミナーを開催いたしますので、是非ご参加下さい。

- 09:00-11:30 泰日工業大学ソフトオープン式典  
1771/1 Patthanakarn Rd.(soi 37-39), Suanluang, BKK  
(パタナカーン・ソイ18のパタナカーン新館より送迎バンもご用意しております)
- 11:30 昼食
- 12:00 特別セミナー受付開始
- 13:15-14:45 特別セミナー『“足るを知る経済”にそった産業開発方針』  
ピヤブット・チョンウィチャン 工業省次官
- 14:45-15:00 コーヒーブレイク
- 15:00-18:00 総会

## ◆ TPA ロボットコンテスト ◆

2007年6月1-3日(金-日)、モールデパート バンカピ店 MCG HALLにて第14回“TPA Robot Contest Thailand Championship”を開催いたします。14回目の今年は、下記4種の競技会を開催いたします。

1. TPA Robot Contest Thailand Championship
  2. TPA Robot Grand-prix Junior
    - ・タイ式エアロピクス&シュート競技
    - ・寸劇競技
    - ・Robot Safety Rally競技
  3. PLC Competition “TPA ROBO DARTS COMPETITION”
  4. 応援合戦
- 学生達の熱戦を応援に是非お越し下さい。



## ◆ Thailand 5S Award 2007参加企業募集中 ◆

2007年11月22-23日開催予定の第6回TPA5S大会Thailand 5S Award 2007の参企業を募集しております。

自社の5S活動のレベルを測り、更なるレベルアップを目指すため参加をご検討下さい。

申込費用 : 2,500バーツ (VAT含む)

参加申込締切: 5月18日



担当連絡先: Tel. 0-2717-3000~29 Ext. 81

## ◆ TPA Automation Kaizen Award 2007参加企業募集中 ◆

2007年10月4-5日開催予定の第3回TPAオートメーション改善大会TPA Automation Kaizen Award 2007参加企業を募集しております。

改善活動の活性化、現場力の向上のためにも参加をご検討下さい。

申込費用 : 1,500バーツ (VAT含む)

参加申込締切: 6月15日



また、今年から個人対象としたKaizen Suggestion Award 2007も同時開催いたします。自慢の改善事例をお持ちの皆様のご参加をお待ちいたします。

担当連絡先: Tel. 0-2717-3000~29 Ext. 81



★今後の予定

★語学部より

◆ スクンビット本校タイ語コース ◆

コース	Code	受講日	時間	受講料(ﾊﾞｰｯ)	申込期間	開講期間
初級	T1 07-002	月～金	9:00～11:30	6,800 (100時間)	4/9～5/27	5/29～7/25
〃	T1 07-003	〃	〃		5/28～6/25	6/28～8/27
〃	T2 07-002	〃	〃		5/15～5/19	5/21～7/17
〃	T2 07-003	〃	〃		6/13～6/17	6/19～8/16
中級	T3 07-001	月・水・金	9:00～11:30	6,800 (60時間)	3/9～5/28	6/1～9/7
〃	T4 07-002	〃	〃		6/21～6/28	7/2～10/5
初級【夜】	T1 07-02Y	月・水・金	18:30～20:30	6,900 (6～7名) 6,100 (8～10名) 5,400 (11名以上) (60時間)	5/5～6/27	7/2～9/12
タイ文字	W1 07-001	月・水・金	9:00～11:30		5/25	5/30～7/25
〃	W1 07-002	火・木	〃		7/18	7/24～10/11
〃	W2 07-001	〃	〃		6/12	6/14～9/4
会話復習	TF1 07-002	月・水・金	〃	〃	7/8	7/11～9/7
短期集中 タイ語会話	TIC 07-002	月・水・金	13:00～15:45	3,000	6/27	7/2～7/27

- \* 後期コースT2, W2は、前期コース修了者が対象です。(T2については、レベルテスト合格者も可)
- \* タイ文字コースは、T2修了者が対象です。
- \* 受講者が定員に満たない場合には、開講されない場合がございます。
- \* 「タイ文字」ならびに「短期集中タイ語会話コース」は、観光ビザの方でも受講できます。
- \* 初級・中級につきましては、観光ビザでは受講できません。日本国内の姉妹団体(財)アジア学生文化協会 ABKアジアセミナーを通してお申し込みください。就学ビザの取得ができ、午前コースへのお申し込みが可能です。問い合わせ先: seminar@abk.or.jp  
タイ語コース担当連絡先: Tel. 0-2258-0320 Ext. 1640,1641 e-mail: thschool@tpa.or.th

◆ 「タイ語を学ぼう」 ◆

発音と文字を覚えてから、基礎会話・文法を学ぶ新コースです。  
タイ文字は難しいと思っている方、挑戦してみてください。

コース期間 2007年5月28日～7月23日(60時間)  
月・水・金 9:00～11:30

受講料 6,900ﾊﾞｰｯ

申込締切 5月23日(定員15～20名)

担当連絡先: Tel. 0-2258-0320 Ext. 1640 e-mail: thschool@tpa.or.th



◆ 第24回ABKタイ語検定試験 1次試験(筆記)5～1級 ◆

6月3日(日)、第26回ABKタイ語検定試験を実施いたします。

タイ語力を客観的に計ってみたい方、学習の目標とされたい方など、多くの方の参加をお待ち申し上げます。

受験料: 5級:1,400ﾊﾞｰｯ / 4級:1,750ﾊﾞｰｯ / 3級:2,100ﾊﾞｰｯ / 2級:2,800ﾊﾞｰｯ / 1級:2,800ﾊﾞｰｯ  
(複数受験可)

出願締切り: 5月28日(月)

※過去問題集を一部200ﾊﾞｰｯにて販売いたします。

担当連絡先: Tel. 0-2258-0320 Ext. 1680, 1650, 1652 / tpajapanese@hotmail.com

## ★ 出版部より

TPA書籍は、TPA Book Center(スクンビット本館、パタナカーン新館、ランシット分校)、及び一般書店にて販売されております。一部TPA出版物は、JCCでも、ご購入いただけます。また、クレジット決済も可能なオンライン通販も実施しています。是非ご活用下さい。



<http://www.tpabookcentre.com>



## 改善標語コーナー

### 最善は改善の敵

ベストを目指し  
ベターから着手

最善が一番いいのはわかっている  
だが、最善に因られると何もできない  
仕事はベストを目指すべきだ  
だが、ベストに因られると何もできない

改善はベストを目指し  
とりあえず  
ベターから着手すべし

編著者 - 黒田英  
TPA BOOK & ALL LOCUS



日本HR協会  
「カイゼンカレンダー」より

## ◆ 新刊書籍のご案内 ◆



T-0701 250ページ

『トヨタ生産方式展開マニュアルステップ式チェックリスト付き』  
(日本語オリジナル: 日本工業新聞社発行、黒田英敏著)  
トヨタ生産方式に対する関心は依然として高く、導入する企業も数多くありますが、うまく展開している企業は少ないものです。本書は筆者が開発したステップ式チェックリストを活用することで、導入・展開を円滑に進められるようにしたマニュアル本です。



『今を生きる経営者のための プロの生産管理』シリーズ 各180ページ

- 1) T-0707 管理者の役割/生産管理の基礎/生産システムの変動と傾向
- 2) T-0708 生産における品質管理/生産業務における安全
- 3) T-0709 資本管理/ジャスト・イン・タイムのデリバリー計画

『BJTビジネス日本語能力テスト 模試と対策』 L-06SB 190ページ

(日本語オリジナル: アスク発行、JALアカデミー著)

BJTビジネス日本語能力テスト(旧ジェットテスト)の問題形式と解き方がわかる、本試験に対応した構成の模擬テストです。ビジネス日本語のポイント整理も出来、BJTテストを受験される方はもちろん、ビジネスの場面での日本語をさらに向上させたい方、日本企業への就職を目指している方にお使いいただけます。これから日本企業で活躍しようという方のための必読書です。



TPA Book Centerでは、技術書・語学教本・読本など書籍の他に、各種ポスター、ビデオなども販売しております。スクンビット店・ランシット店では土日も営業いたしております。また、配送サービスも承っておりますので、遠方の方もお気軽にご連絡下さい。



スクンビット店

スクンビット・ソイ29, 月～金 8:30～18:30  
(土・日 8:00～17:00)  
Tel : 0-2258-0320 Ext. 1570, Fax : 0-2259-9116,  
E-mail : tpab\_s@tpa.or.th

パタナカーン・ソイ18, 月～土 8:00～17:00  
Tel : 0-2717-3000, Ext. 202, Fax : 0-2719-9478,  
E-mail : tpab\_p@tpa.or.th



パタナカーン店

## ☆ 在タイ日本人のための、日・タイ クロスカルチャー講座 (第19回) ☆

(本講座は、TPA書籍「日本 クロスカルチャー タイ」から、内容を一部抜粋しております)

### 「給与・待遇」

タイの職場では、給与や待遇について、日本の職場よりもプライバシーの意識が薄いようだ。日本人は、たとえ同僚同士であっても、あまり相手の給与や待遇を尋ね合ったりはしない。この点、タイ人の場合、気軽にいくら昇給したか、評定はどうだったかをオープンに聞き合う傾向が強い。このため、人事関係の機密事項などをたとえ秘密にしている、給与や待遇に関する情報が日本人管理職の知らないところで、早いスピードでタイ人スタッフの間に知れ渡ってしまったりすることがある。タイ人は、職場でも非常に細かい点や事項に渡って、気軽に相談・情報交換する傾向が強いため、プライバシー情報も伝わりやすい。日本人管理職は、こうしたタイ人のプライバシーについての意識の違い、また、タイ人スタッフ間の情報の伝わりやすさにも、注意と配慮が必要である。

- \* 「日本 クロスカルチャー タイ」は、TPA Book Center各書店、バンコク日系書店、JCC、日本人会別館などにて好評発売中です。(199ページ)  
上記の紹介例をはじめとする124の事例をもとに、日本人がタイで生活・仕事をする上での注意点、タイ人スタッフとの接し方、タイ社会のタブーなどを面白く解説した書籍となっています。
- \* 日本国内では、アジア文庫(神保町:電話03-3259-7530)にて取り扱っております。こちらも合わせて、御利用ください。

## ☆ セミナー一部より

<http://www.tpif.or.th/>

### ◆ 日本人対象「ISO9001/ISO14001」セミナー ◆

ISO9001品質マネジメントシステムならびにISO14001環境マネジメントシステム導入を成功に導く要となる日本人管理者の方を対象に、日系企業での指導経験の豊富な講師をお迎えし、日本語による「ISO9001/ISO14001」セミナーを開催いたします。

日 時 2007年5月17日(木) 9:00～16:30  
会 場 Amari Atrium Hotel, New Pechaburi Rd.  
受 講 料 会員: 3,000 バーツ / 一般: 3,600 バーツ (VAT・昼食含む)  
プログラム \* ISO9001:2000ならびにISO14001の考え方と活用  
\* 管理者の役割と義務  
\* ISO9001とISO14001を管理ツールとして活用する  
\* 進め方と問題発生時の解決について

担当連絡先: Tel. 0-2717-3000～29 Ext. 715

### ◆ 安全管理者コースについて ◆

TPAでは、2006年5月労働省により布告された新告示に伴い、各安全管理者コース(スーパーバイザークラス、管理者クラス、専門クラス、上級専門クラス、専任安全管理者対象42時間の追加研修)の研修機関としての登録を申請し、この度認定を取得いたしました。

当告示は、関係機関の質ならびレベルの均等化を図ることが目的とされたもので、研修機関における品質管理システムもしくは、教育品質保証システムの取得が再登録の条件でありました。

認定が折りましたことにより、一年近く休講しておりました研修を再開できる運びとなりました。日本人対象コースに置きましては、研修教本の翻訳が必要なため7月頃に再開の予定です。

現在、予約の受付を開始いたしております。セミナースケジュール確定後には申し込みが殺到する恐れもございますので、事前予約をご利用いただければと存じます。

担当連絡先: Tel. 0-2717-3000~29 Ext. 81

### TPA日系法人会員募集

会員の皆様には、会報「TPA News」や技術情報誌「Technology」などを通じた情報提供、および、セミナー研修、日本語コース、書籍やその他サービスの割引などの特典がございます。TPA会員特典を生かし、タイ人スタッフへの教育、企業研修にご活用頂きたく、ご検討の程よろしくお願い申し上げます。

日・タイ経済協力協会(JTECS)は、TPA事業に関する、日本側からの支援事業を行っております。  
東京都文京区本駒込2-12-13(アジア文化会館)  
Tel:(03)3946-0841(代) Fax:(03)3946-0896  
e-mail:admin@jtecs.or.jp <http://www.jtecs.or.jp>

# JTECS

### 編集・発行



泰日経済技術振興協会(タイ語略称:ソーソーター)  
Technology Promotion Association(Thailand-Japan)  
<http://www.tpa.or.th>

日本語でのお問い合わせは、日本人スタッフまでお願いいたします。  
Tel 02-258-0320 浅見Ext.1913

### [スクンビット本館]

- 語学事業(日本語、タイ語、英語、中国語)
  - 出版事業(語学テキスト、技術書、文化本、日本語書籍からの翻訳出版を含む)
- 5-7 Sukhumvit Soi 29, Bangkok 10110  
Tel.02-258-0320 Fax.02-662-1017



### [パタナカーン新館]



- セミナー研修事業(技術、経営など)
  - カリブレーション、水質検査事業
  - IT事業
  - 中小企業診断、診断士育成事業(タイ国工業省委託)
- 534/4 Pattanakarn Soi18, Bangkok 10250 Tel.02-717-3000 Fax.02-719-9481